

令和2年 労働災害発生状況 (10月末現在)

(休業4日以上)の死傷者数

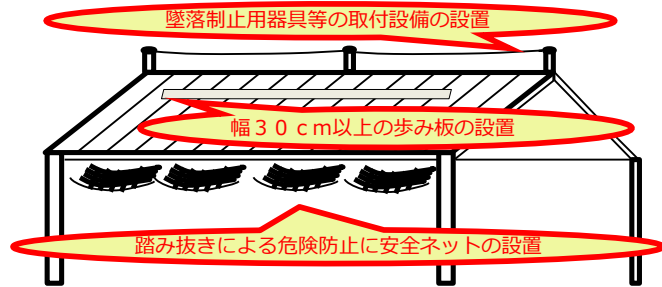
常総労働基準監督署

業種別

業種	2年		元年		同期比	
	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品	36	1	30	-1	6
	木材・木製品	5		5		
	化学工業	7		8		-1
	金属製品	12		15		-3
	一般・電気・輸送用機械	14	1	14	-1	
	その他	25	1	18	-1	7
小計	99	3	90	-3	9	
建設業	土木工事	6		10		-4
	建築工事(木造除く)	6		3		3
	木造建築工事	2		4		-2
	その他の建設	9		7		2
小計	23		24		-1	
陸上貨物運送事業	45	1	43	-1	2	
畜産業	5				5	
小売業	18		13		5	
社会福祉施設	8		6		2	
飲食店	4		6		-2	
その他	45		39		6	
計	247	4	221	-4	26	

スレートの踏み抜きによる墜落災害を防ごう!

スレート屋根は丈夫ではありません。作業者がスレートの上に乗ると、スレートは割れて作業者が真下へ墜落し、死亡又は重症の労働災害につながります。当署管内でも令和2年にスレートの踏み抜きによる墜落により、後遺症が残る労働災害が発生しました。常総労働基準監督署ではスレートの踏み抜きによる墜落災害の防止に取り組んでいます。スレートの踏み抜きによる労働災害は、スレート屋根上の作業や移動中に発生しており、墜落防止対策を講じていないのが原因です。



- 保護帽(ヘルメット)、墜落制止用器具等を着用する。
- 安全設備の使用状況について、安全設備が正しく機能し、労働者が

月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2年	26	36	33	21	19	32	27	22	21	10			247

年齢別

	件数	率(%)
～19歳	7	2.8%
20～29歳	28	11.3%
30～39歳	56	22.7%
40～49歳	46	18.6%
50～59歳	52	21.1%
60歳～	58	23.5%

規模別

事故の型別

業種	規模	規模別				墜落・転落	転倒	激突され	巻込まれ	こ切すれ	交通事故	動作の反動	その他	合計
		規模9人	規模10人	規模11人	規模12人以上									
製造業	食料品		8	5	23	4	12	1	8	6		1	4	36
	木材・木製品		2	1	2		1		1	1		1	1	5
	化学工業	1	4	1	1	1	1	1	2				2	7
	金属製品	3	4	3	2				6	3		1	2	12
	一般・電気・輸送用機械	2	5	2	5	2	4	1	3			2	2	14
	その他	3	12	7	3	2	5	3	4	1	1	4	5	25
小計	9	35	19	36	9	23	6	24	11	1	9	16	99	
建設業	土木工事	3	3						1	2			3	6
	建築工事(木造除く)	4	2			1	1		3	1			6	
	木造建築工事	2							1		1		2	
	その他の建設	4	5			3			1	1	2	1	9	
小計	13	10			4	1		6	4	2	2	4	23	
陸上貨物運送事業	1	27	7	10		13	4	6	6		1	9	45	
畜産業		4	1		1				1	1	1	1	5	
小売業	1	8	4	5	2	3		1	2	3	5	2	18	
社会福祉施設		4	3	1	1	5					2		8	
飲食店		4				1						3	4	
その他	6	14	4	21	6	19	1	6		2	7	4	45	
計	30	106	38	73	36	56	13	43	18	10	35	36	247	

※ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、()内は死亡者で内数である。

※ 陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。